

第 63 回日本水環境学会セミナーのご案内  
「第 8 次水質総量削減～下水の高度処理と閉鎖性海域の環境管理～」

これまでの閉鎖性海域における水質管理は、公害の時代を経て水質総量規制（水質総量削減）という形で実施されてきた。しかしながら、近年漁獲量の減少や海苔の色落ちの原因の 1 つとして、貧栄養化（無機態窒素・リンの減少）の進行が指摘されている。望ましい生態系という観点からも、きれいで豊かな海とは何かを考え直す時期に来ていると考えられる。本セミナーでは多方面から講師をお呼びし、きれいで豊かな海と水質総量削減について考える機会を提供する。

主催：（公社）日本水環境学会

期日：2018 年 2 月 2 日（金）9：55～16：40

場所：自動車会館大会議室（東京都千代田区九段南）

<http://www.jidosya-kaikan.com/map.html>

参加費（税込）：会員 7,000 円、学生会員 3,000 円、非会員 15,000 円、学生非会員 4,000 円

定員：先着 130 名

申し込み方法：FAX、E-mail、参加申込書またはハガキに

- ① 参加者氏名（フリガナ）
- ② 会員・非会員の別
- ③ 会員の場合は会員番号
- ④ 連絡先（所属団体名、住所および電話・FAX 番号）

をご記入の上、下記宛てお申し込みください

また、参加費を **1 月 25 日まで**にお振込みください。

入金を確認後、参加証（ハガキ）をお送りいたします。

参加費振込先：三菱東京 UFJ 銀行 市ヶ谷支店（普通）0754950

（公社）日本水環境学会セミナー口

シャ）ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

セミナー参加証明書の発行について

継続技術者教育（CPD）の観点から、要望に基づきセミナー参加証明書を発行します。参加証明書の発行を希望される方は当日受付においてその旨を申し出てください。

申し込み・問い合わせ先：

（公社）日本水環境学会 セミナー係

（E-mail: [togawa@jswe.or.jp](mailto:togawa@jswe.or.jp)）

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7 グリーンプラザ深川常盤 201 号

TEL. 03-3632-5351 FAX. 03-3632-5352

ホームページ URL: <http://www.jswe.or.jp/event/seminars/seminar.html>

## 第 63 回日本水環境学会セミナー

### 「第 8 次水質総量削減～下水の高度処理と閉鎖性海域の環境管理～」

#### プログラム

9：20－9：55 受付

9：55－10：00 開会の挨拶

10：00－11：00 **第 8 次水質総量削減と今後について**

放送大学理事・副学長 岡田光正

平成 28 年 9 月 30 日に策定された第 8 次水質総量削減について、これまでの経緯を含めてその内容について紹介いただくとともに、今後の方向などについてご講演いただきます。

11：10－12：10 **カキ等の漁業生産に関する里海再生や藻場・干潟の再生について**

(公財) 国際エメックスセンター理事・特別研究員 柳哲雄

今回の水質総量削減では、残された藻場・干潟を保全するとともにそれらの再生についての推進を図ることとされており、カキ等の漁業生産のためにも欠かせない里海再生や藻場・干潟の再生についてご講演いただきます。

～昼休み～

13：10－14：10 **新たな海洋基本計画における水産の課題について**

水産大学校代表 鷺尾圭司

現在、海洋基本計画の改定に向けた検討が進められており、新たな海洋基本計画に盛り込まれる様々な課題の中で、水産資源の持続的利用や海洋保護区との関連、海洋産業との調整など、水産と関わりのある事項についてご講演いただきます。

14：20－15：20 **健全な水環境の創出に向けた下水道の取組について**

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 岩井聖

下水道整備等の進展により、汚濁負荷削減が着実に進んでいる一方、依然として発生する赤潮や青潮への対応や豊かな海への希求など、地域のニーズに応じた多様な水環境管理が求められており、下水道の取組についてご講演いただきます。

15：30－16：30 **兵庫県の取組～沿岸域の再生、創出と水質の保全、管理の取組～**

兵庫県環境部長 秋山 和裕

護岸等の沿岸工場等による改善を促す方策、豊かな海の生態系の維持に必要な窒素、りんの下限値の検討状況について、ご講演いただきます。

16：30－16：40 閉会の挨拶

\*講師の都合等で内容や時間等一部変更となる場合があります。